

ダイアボンド DC7000

ダイアボンドDC7000は、木工・建材用として開発された速乾で、タックの長い、スプレー形クロロプレングム系接着剤です。

§ 特長

1. 速乾で、ロングタックのため、作業性に優れます。
2. 接着力が高く、初期接着性に優れます。
3. 耐水、耐老化、耐熱性に優れます。
4. 糸引きが少なく、ビード状に吹付けられるため、多孔質材料に対してしみ込みが少ないです。

§ 用途

1. ドア、間仕切パネル、家具、テーブル、サイジングボードなど各種建材の接着
 2. 建築内装仕上げ工事の接着
 3. 自動車や車両の内装材の接着
 4. その他 断熱材、繊維、木材、金属、ゴム、皮革の接着
- ☆ 被着材の組み合わせによっては、接着しにくいものがありますので、試験した上でご使用下さい。

§ 一般性状

主成分		クロロプレングム
外観		黄褐色
不揮発分 (%)		21 ± 1
粘度 (mPa·s)	at20°C	150 ~ 400
指触乾燥時間 (分)	at20°C	1 ~ 3
粘着保持時間 (分)	at20°C	40 ~ 60
保証期間 (月)	at25°C	6
引火点 (°C)		-17
発火点 (°C)		240

§ 使用方法

1. 前処理 被着材表面の水分やゴミ，油などを除去し、汚れのないよう清浄にします。
2. 塗布 スプレーで被着材の両方に接着剤を均一に塗布します。
塗布量は、片面当り 150～250 g/m² (両面で 300～500 g/m²) 塗布して下さい。
スプレーガンの口径：2.0～2.5mm φ エア圧：0.3～0.5 MPa
3. はり合せ 常温にて 10～30 分間乾燥してからはり合せます。
4. 加圧 はり合せ後、充分に加圧して接着します。

§ 接着性能

1. 接着強さ

	はく離接着強さ (N/25mm)		引張りせん断接着強さ (MPa)		
	Al/S	Al/Can	合板/合板	MF/Al	
常 態	1 時間	32	21	1.0	0.7
	24 時間	48	28	1.7	0.9
	48 時間	52	48	2.0	1.1
	96 時間	58	50	2.5 *	1.2
熱老化	70℃×96 時間	59	68	3.0 *	1.6
耐 熱	80℃	24	27	0.6	0.4
耐 寒	-20℃	66	62	3.5 *	4.0
耐 水	48 時間	48	62	1.4	0.9

*：材質破壊 Al：アルミニウム板 Can：綿帆布 S：スレート板 MF：メラミン化粧板
試験方法：JIS K 6854，K 6850 に準ずる

2. 軟化温度

1 日 目	120 ～ 130 ℃
5 日 目	160 ～ 180 ℃
10 日 目	200 ℃ 以上

試験方法：JIS K 6833 に準ずる

§ 注意事項

- ・ 保管中に分離することがありますので、使用前に全体が均一な層になるまで攪拌してご使用下さい。
- ・ 火気のあるところでは使用しないで下さい。
- ・ 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けて下さい。
- ・ 取扱い作業中には、換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ・ 取扱中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク、保護手袋、前掛けなどを着用して下さい。
- ・ 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いて下さい。
- ・ 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けて下さい。
- ・ 蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けて下さい。
- ・ 誤って飲み込んだ場合には、口に水を注ぎ、ただちに医師の診察を受けて下さい。
- ・ 皮膚に付着した場合は、すぐに付着物をふき取り、水と石けんでよく洗って下さい。
- ・ 容器を密閉して、直射日光の当たらない場所で、5℃～35℃で保管して下さい。
- ・ 器具の洗浄にはトルエンをご使用下さい。
- ・ 容器からこぼれた場合には、布で拭きとって、密閉できる容器に回収して下さい。
- ・ 空容器は、中身を使いきってから廃棄して下さい。
- ・ 接着剤を廃棄する場合、産業廃棄物の許可を受けた専門業者に委託して下さい。
- ・ 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- ・ 本来の用途以外には使用しないで下さい。
- ・ 消防法：第四類第一石油類（非水溶性液体）（危険等級Ⅱ）に該当

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。